

コンパクトクールキット 取扱説明書

(3フィン)

製品番号 07-07-0327

取り付けマウント位置：フレーム
オイル取り出し位置：シリンダーヘッド/Rクランクケース
ホース：ラバーホース

適応車種 KLX110 '02モデル以降 (LX110A-000001～)

適応条件 弊社製ビッグボアキャブレターキット (VN26) 装着車

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

～特徴～

- KLX110に、3フィンタイプのコンパクトクールを取り付ける事の出来るキットです。
オイルライン取り出し口をKLX用に最適化していますので、アンダーガード等はそのまま使用する事が出来ます。
- 弊社製 VM26 キャブレターキットを取り付けた際に、左シュラウドステーの役目しか果たしていない純正エアクリナーボックスを取り外し、空いたスペースにオイルクーラーを取り付けます。
また、オイルクーラーステーから左シュラウドを固定するステーも備えていますので、純正エアクリナーボックスを取り外しても、シュラウドがバタつくような事はありません。
- 当製品のオイルクーラーには、コンパクトクールを採用しているため、標準でオイルクーラーガードを備えています。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

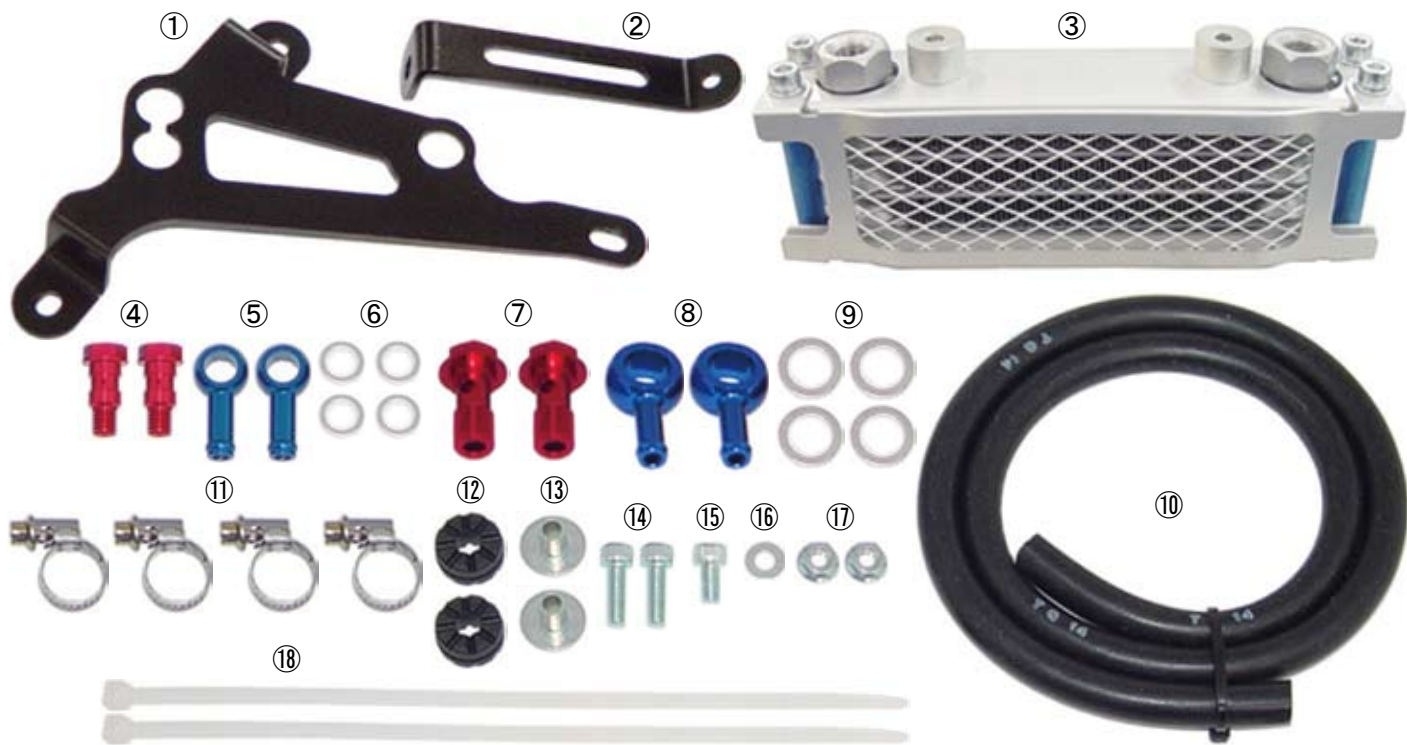
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	オイルクーラスター 1	1	15660-KL1-T11
2	オイルクーラスター 2	1	15661-KL1-T10
3	コンパクトクーラー (3フィン)	1	00-07-0124
4	バンジョーボルト M8x1.25	2	00-07-0099
5	バンジョー 10mm (ストレート)	2	00-00-1433
6	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0106 (10ヶ入り)
7	バンジョーボルト M12x1.0	2	00-07-0120 (シーリングワッシャ付)
8	バンジョー M12	2	00-07-0127
9	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042 (5ヶ入り)
10	オイルホース 1000mm	1	00-07-0018 (1000mm)
11	ホースクランプ	4	00-00-0052 (2ヶ入り)
12	クッションラバー	2	00-00-0099 (4ヶ入り)
13	カラー	2	00-00-0476
14	ソケットキャップスクリュー 6x20	2	00-00-0721 (5ヶ入り)
15	ソケットキャップスクリュー 6x12	1	00-00-0717 (5ヶ入り)
16	プレーンワッシャ 6mm	1	00-00-0086 (10ヶ入り)
17	フランジナット 6mm	2	00-00-0173 (6ヶ入り)
18	結束バンド 250mm	2	00-00-0202 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ
様お願い致します。

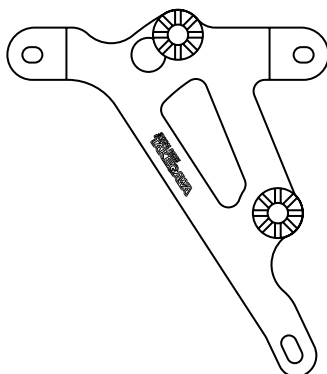
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●作業を始める前に

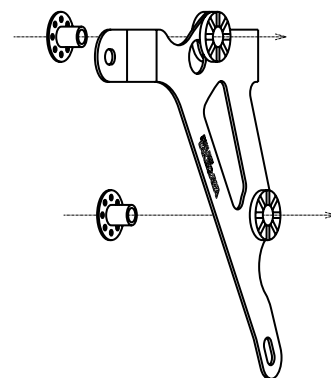
- キット内容をご確認下さい。
- 車両をメンテナンススタンド等で、しっかりと水平に安定させて下さい。

●オイルクーラーの組み立て

- ①オイルクーラスター 1 に、⑫クッションラバーを取り付けます。
上側の取り付け穴は、TAKEGAWA ロゴから遠い方の穴に取り付けて下さい。



- ⑬カラーを、①オイルクーラスター 1 裏面より差し込みます。



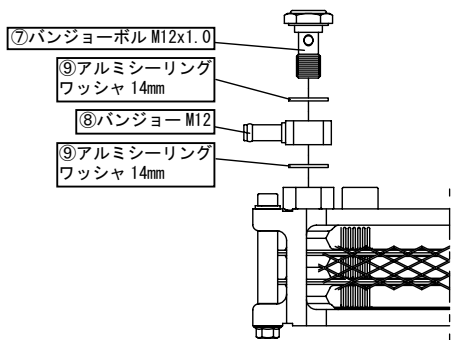
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○①オイルクーラーステア1の裏面(カラー側)より、⑭ソケットキャップスクリュー 6x20を通し、③コンパクトクー(以下オイルクーラー)を取り付けます。

⚠注意:必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク: 9N・m (0.9kgf・m)

○⑦バンジョーボルト M12x1.0、⑨アルミシーリングワッシャ 14mm、⑧バンジョー M12、⑨アルミシーリングワッシャ 14mmの順で通し、オイルクーラーに、仮締めします。この時、バンジョーと、オイルクーラーステアが干渉しない角度で仮締めして下さい。

⚠注意:シーリングワッシャが、オイルクーラーヘッダー(6角部分)の凹部からずれた状態でバンジョーボルトを締め付けた場合、オイル漏れの原因となります。

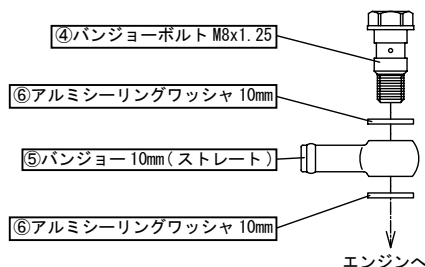


●オイルクーラーの取り付け

○オイル受けを用意して、シリンダーヘッドとクランクケース間を接続しているオイルパイプを取り外します。必要に応じて、アンダーガードを取り外して作業を行って下さい。

○④バンジョーボルト M8x1.25に、⑥アルミシーリングワッシャ 10mm、⑤バンジョー 10mm(ストレート)、⑥アルミシーリングワッシャ 10mmの順で通し、クランクケースと、シリンダーヘッドにそれぞれ仮付けします

⚠注意:この時、クランクケース及びシリンダーヘッド側のシーリングワッシャが、バンジョーのセンターに来ている事を確認して下さい。ずれたまま取り付けると、オイル漏れの原因となります。



○車両の左シュラウドを取り外し、純正エアクリーナーボックスを取り外します。純正エアクリーナーボックスを車両に固定しているフランジスクリューは再使用します。

○純正エアクリーナーボックスを固定していたスクリューを用いて、オイルクーラーを取り付けた①オイルクーラーステア1を、車両に取り付けます。

⚠注意:必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク: 9N・m (0.9kgf・m)

○⑩オイルホース 1000mm を適切な長さに切断し、⑪ホースクランプを通してから、オイルクーラーのユニオンと、クランクケース及びシリンダーヘッドに取り付けたバンジョーに差し込みます。

○オイルホースがシリンダーや車体と干渉しないように、⑧バンジョー M12 及び⑤バンジョー 10mm(ストレート)の角度と、オイルホースの長さを調整して固定します。



○⑦バンジョーボルト M12x1.0 と、④バンジョーボルト M8x1.25 を規定トルクで締め付けます。

⚠注意:必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12x1.0(オイルクーラー側)
トルク: 22.5N・m (2.25kgf・m)
バンジョーボルト M8x1.25(エンジン側)
トルク: 12N・m (1.2kgf・m)

⚠注意:オイルクーラー側のバンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

○⑩結束バンドで、ホース同士を束ね、車体やエンジン等に干渉する事が無い様にホースの動きを規制します。

どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意して頂き、干渉部分を保護して下さい。

●L. シュラウドの取り付け

○写真を参考にして、⑮ソケットキャップスクリュー 6x12に、⑯プレーンワッシャ 6mm、②オイルクーラーステア2、①オイルクーラーステア1の穴を通してから、⑰フランジナット 6mmで仮付けします。



○L. シュラウドの、燃料タンク側のスクリューを仮止めてから、先程仮止めた②オイルクーラーステア2の位置を調整し、L. シュラウドに純正スクリューを通して、②オイルクーラーステア2の裏から、⑰フランジナット 6mmで固定します。

○先程仮付けした⑮ソケットキャップスクリュー 6x12を、規定トルクで締め付けます。

⚠注意:必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク: 9N・m (0.9kgf・m)

●最終確認

○ステアリングを左右一杯に切り、取り付けしたオイルクーラーが、フロントフォーク等や車体と干渉しないか確認します。
○スパークプラグを外し、キックスターを複数回踏みおろしてオイルをエンジン内に回した後、スパークプラグを取り付けます。
○エンジンオイルを40cc(オイルクーラー容量)程度追加し、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れの有無を確認して下さい。エンジンを止め、約1分後に車体を垂直に立てて、オイルレベルゲージで基準範囲内にある事を確認し、少ない場合は補充して下さい。

⚠注意:エンジン始動後は、オイルクーラーやシリンダー等が高温になりますので、十分注意して下さい。